

メトロマニラ立体交差施設建設事業（ ）



エドサ～ショー立体交差

借款概要

承諾額/実行額	1,663百万円/1,512百万円
借款契約調印	1991年7月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1998年10月

事業概要

慢性的な交通渋滞が発生していたマニラ環状4号線と主要放射道路との交差点を立体交差化することにより、同首都圏の道路交通機能を改善し、もって効果的な都市開発を促進するもの。

評価結果

エドサ～ボニー通りの立体交差が完成した後の1996年から1997年にかけて、エドサでの交通量が減少するとともに、ボニー通りのアンダーパスで通行可能となった部分の交通量が増大する等、本事業の完成によって、交通の流れに変化が生じ、エドサへの交通量が減少したことによって状況が改善されたといえる。

一方、交通安全について、インタビュー調査の結果、交差点での事故数が減少したと8割が回答しており、実際、エドサ～ショーの交差点での事故は、事業完成後の1998年以降減少している等、安全性の向上に大きく貢献している。

維持管理については、民間委託の積極的導入も図っており、予算面・人員面で現状特段の問題は生じていない。